

文化財 勝手に!!

第3回

このコーナーは、まちで見かけた文化財級と思われる歴史スポットを勝手にご紹介するものです。※文化財指定はされていないもので、文化財級の価値がある!というものを取り上げております。



角間川「浜倉」

所有者:大仙市
 建築年代:明治5年
 用途:(旧)土蔵→(現在)集会場
 構造形式:
 ■A棟(正面向かって左):木骨土蔵造、平屋建。小屋組:和小屋形式。間口4間×桁行7間、床面積92.75㎡。
 ■B棟(正面向かって左):木骨土蔵造、平屋建。小屋組:洋小屋真束式。挟み束、火打ち、方杖なし(平成23年の改修で付加した)。間口5間×桁行8間、床面積132.5㎡。

特徴

●浜倉が位置する旧角間川港は雄物川と横手川の合流点にあり、江戸～明治までは舟運の中継地として、内陸屈指の川港だった。土崎からの北前船につなぐため、主に上納米を土崎まで出荷、塩・日用品等を復路で運び、同港は明治30年ごろまで賑わったとされる。角間川の商人が所有する倉が川沿いに20棟程度あったようだが、平成8年の段階で4棟まで減少。個人(A荒川家、B本郷家)から大仙市に譲渡され、状態の良い2棟が残された。
 ●内部構造について、ABとも柱に貫を通し、外側を土塗り壁としている。同時期の建築とされるが、小屋組形式が異なっていること、また、B棟は真束トラスで方杖などの補強材が使われておらず、洋小屋構造がまだ浸透していない時期のものという性格がより明らかになる。(墨書から明治5年築ということも示されている)。設計・施工者とも不明。

やまとスタッフのイチオシ!~音楽編~ vol.4

今回「勝手に!文化財」で紹介した角間川浜倉は、当時の角間川の繁栄ぶりをしのぶ貴重な建築物です。川運で多くの物資や人々が行き交い、豊かに栄えた角間川では「角間川舟唄」という民謡が生まれ、歌い継がれて

きました。往時の角間川の流れるように、ゆったりと上品で豊かな旋律に乗り、美しい川港の情景が描写されています。動画サイトでは、秋田県の新品種「サキホコレ」PRの「サキホコレ音頭」でも有名な民謡歌手 小野花子さんに

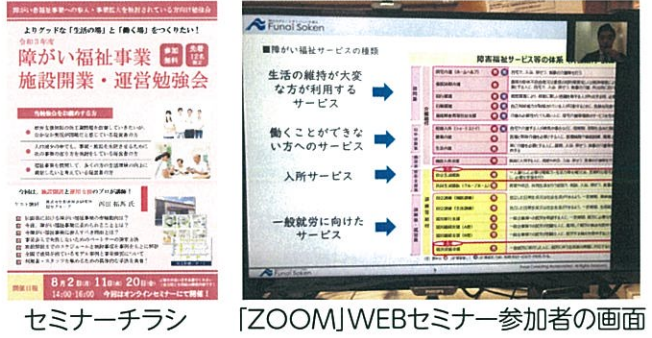
よる演奏を聴くことができます。ぜひ検索してみてくださいね。(Saito)



↑角間川舟唄はコチラから

NEWS 障がい福祉事業 施設開業・運営勉強会 開催しました

このほど、障がい者福祉事業の展開や開設を考えている方向けの勉強会が開催されました。日本福祉事業者支援協会秋田支部が主催で、船井総研/福祉グループのコンサルタントがゲスト講師としてレクチャー。セミナーでは、就労支援施設の工賃を高くするための施策や施設整備のスケジュールリング、補助制度の活用についてなど紹介しました。弊社の松塚も施設づくりで失敗しないためのポイントをお伝えしました。アンケートの結果、好評であったため、年内に同テーマのセミナーを開催する予定です。



株式会社 やまと建築事務所
 YAMATO ARCHITECT OFFICE
 事業用施設の設計、建築プロジェクトの戦略・運営支援

2019年医療福祉用建物の設計件数 秋田県南地域 **No.1**
 ※国土交通省着工棟数統計から

本社 大仙市大曲大町2-24
 サテライトオフィス 大仙市大曲中通町7-15 コレクトビル2F

0187-73-5955 受付時間 平日9:00~18:00

建築相談会行っております

- 店舗や福祉事業所などの新設
- 国県市の補助事業への応募方法
- 今利用している施設の増改築

お気軽にご相談ください!

NEWS 中小企業でも備えたい「IT災害対策」①

この頃、災害が増えてきています。水害や地震などの直接被害への対策も大事ですが、中小企業においては「IT災害対策」も重要とされています。電気などのインフラがダメージを受けた場合は、スタッフの出勤が出来なかったり、長時間の停電が続いたりする事が想定されます。テレワークなど遠隔勤務の環境整備と同時に、一度は災害時の訓練をしておくことをお勧めします。ITの災害対策の基本は、まずは「電源」の確保です。

■どう、「電源」を確保するか?
 停電となった際、まずはスタッフ間の安否確認を取るとします。すぐに電気が復旧しない場合、携帯電話のバッテリーを使い切ってしまうので、長期戦に備えた携帯電話やノートPCの電源確保が望まれます。また、停電時は会社のPCやFAXが使えなくなります。社内の共有サー

無停電電源装置(UPS)
 雷や停電時にデータを守る無停電電源装置(UPS)。充電された一定時間はPCが使用可能となる。

停電時に、電源供給!

携帯充電器
 携帯充電器の活用が命!停電時でも充電できるモバイルバッテリー等を準備したい。簡易型はコンビニでも売っている。

小型発電機
 家庭用のガスカセットボンベで発電出来る手軽な機種も。1~2時間使用可能。価格帯は10~20万円。

携帯充電器のテザリング
 携帯充電器のテザリング機能を使えば、停電時にもインターネット接続が可能となる。

バーからも、保存データが開けなくなります。ひかり回線もルーターに給電されなければネットに繋ぐ事が出来ません。これらへの電源確保としては、無停電電源装置(UPS)や小型の発電機を導入する事で対策ができます。ノートPCのインターネット接続は、

ポケット型のモバイルWi-Fiや携帯電話のテザリング機能を使用する事でも可能となります。電源と通信環境が確保されたら、業務上必要なデータの確認やWeb会議を行う事で、緊急時の業務連絡体制をつくる事ができます。この内容については、次号でご紹介します。

NEWS 「エスプール秋田大曲」イオン大曲SC内に8月OPEN

企業の事務代行・コールセンター事業を行うエスプール社(本社:東京)は8月21日、大仙市内のイオン大曲SC内にBPO拠点を開設した。BPOとはビジネス・プロセス・アウトソーシングの略で、自治体や企業から電話対応や事務作業等を請け負うオフィスのこと。また同センターには、地元自治体の「行政サテライトカウンター」も設置される予定。マイナンバーカードの取得手続きに関する相談や各種証明書の発行などの実施に向けて検討が進められている。今後は、役所庁舎に行かずとも市窓口の職員と

の相談等コミュニケーションを取る事ができる「オンライン窓口」の設置も検討されており、住民の利便性向上が期待される。このオフィスは、ショッピングモールの通路との間に、花火をイメージさせるカラフルなガラス面を設けることで空間の広がり確保しながらプライバシー性を確保。サテライト窓口となる部分は、自治体の堅実さを表しつつショッピングモールの景観を損なわない、ホテルラウンジのような落ち着いたインテリアとなっている。ICT技術を活用した新しいタイプのオフィス・窓口が稼働する。

完成イメージ

建築主:株式会社エスプール 延床面積:155.52㎡(約47坪)
 所在地:秋田県大曲市和合 設計監理:株式会社やまと建築事務所
 用途:オフィス 施工:高吉建設株式会社